

さいたま市総合振興計画審議会 総会（第3回） 会議録

日時	令和元年10月21日（月） 午前10時00分～12時00分
場所	プリムローズ有朋 カトレア
出席者 （敬称略）	<p>〔委員〕計35名  秋元智子／秋元秀夫／石川憲次／磯田俊輔／内田幸枝／内田奈芳美  小野安史／柏木恵／川鍋栄／桐淵博／久保田尚／齋藤英一／作山康  島田正次／鈴木真由美／高橋行憲／田中岑夫／鶴見清一／豊島登  永沢映／中島マリ子／中野勇／長野基／子吉亮／藤枝陽子  松本敏雄／三次宣夫／宮本恭嗣／村山和弘／茂木武久／本澤繁  矢部憲春／山崎秀雄／横道清孝</p> <p>〔事務局〕さいたま市  都市経営戦略部：篠葉参与／田中副参事／前主幹／新井主査  松本主査／大塚主任／玉置技師／篠田主事</p> <p>〔傍聴者〕2名</p>
欠席者	<p>〔委員〕計13名  大久保秀子／岡本祐輝／河野公輝／合谷竜一／齋藤友之／佐藤徹  鈴木甫／塚崎裕子／鳥海修一／林承弘／平林紀子／松山麻衣  山田亜紀／渡邊峻也</p>
議題	<p>1 開会  2 定足数の報告  3 議題  （1）次期総合振興計画策定に関するこれまでの検討経過について  （2）次期総合振興計画（案）について  （3）その他  4 閉会</p>
公開又は 非公開の別	公開
配付資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さいたま市総合振興計画審議会 第3回総会 次第</li> <li>・さいたま市総合振興計画審議会 第3回総会 席次表</li> <li>・さいたま市総合振興計画審議会 委員名簿</li> <li>・資料1 : 次期総合振興計画策定に関するこれまでの検討経過について</li> <li>・資料2 : 各部会における委員意見について</li> <li>・資料3 : 次期総合振興計画の全体構成（目次）案</li> <li>・資料4 : さいたま市次期総合振興計画（案）の概要</li> <li>・資料5 : さいたま市次期総合振興計画（案）</li> </ul>
問い合わせ先	都市戦略本部 都市経営戦略部 電話 048-829-1035

## 1 開会

## 2 定足数の報告

**○司会** さいたま市総合振興計画審議会運営要綱第5条第2項により、本部会の定足数は過半数と定められておりますが、本部会の出席委員は、委員総数48名に対し34名となっており、定足数を満たしていることから、本日の審議会が成立していることをご報告いたします。

**○司会** 続きまして、本日の傍聴希望又は報道各社の取材希望についてでございますが、現在のところ、傍聴希望者は2名、うち報道関係者が2社となっております。また、本会議につきましては、会議録を作成するための録音、記録のための写真撮影を行わせていただきます。会議録につきましては、各委員にご確認いただいた後、会長の承認を以って確定いたします。公開となる会議の会議録は、各区情報公開コーナーと市のホームページで公表する予定となっておりますので、あらかじめご承知ください。それでは、以降、会長に議事進行をお願いいたします。

**○会長** 皆様には、ご多用のところ短い期間で各部会においてご審議いただき、大変お疲れ様でした。各部会とも活発なご議論のもと、今回次期総合振興計画の中間案をお示しする運びとなりました。

それでは、議事進行を務めさせていただきます。はじめに、会議の公開と傍聴の許可について諮りたいと思います。本日の会議を公開とし、傍聴を許可したいと思いますが、よろしいでしょうか。

(異議なし)

**○会長** ご異議がないようですので、本日の会議は公開としたいと思います。

## 3 議題

### (1) 次期総合振興計画策定に関するこれまでの検討経過について

**○会長** それでは、議題に入らせていただきます。議題1「次期総合振興計画策定に関するこれまでの検討経過について」、事務局より説明していただきたいと思いますが、それでは、説明をお願いいたします。

**○事務局** (資料1～2、資料5に基づき、「次期総合振興計画策定に関するこれまでの検討経過について」事務局より説明)

○**会長** ただいまの説明につきまして、ご意見やご質問等はございますか。

○**松本委員** さいたま市自治会連合会会長として参加させていただきました。発言する内容からすれば第2部会に出席することが適当だったと思いますので、この場で改めて意見を述べさせていただきたいと思います。事務局より自治会加入促進について説明がございましたが、先日の台風19号を踏まえて、避難所の運営に関して、自治会と行政の役割について課題が見えました。台風19号に伴い、学校が避難場所として開設されましたが、避難所の運営は市職員と学校管理者、あるいは自治会役員でした。市職員で手が回らない部分を自治会役員が作業をしておりました。今後、自治会役員の高齢化が進み、自治会役員をやめる人が多くなることが想定されます。

また、自治会連合会と宅建業界は、協力して自治会加入促進を進めており、一戸建ての住民に対しては、自治会加入促進の成果が出てきました。しかし、タワーマンションについては管理組合との調整がうまくいきません。地域福祉の担い手となる民生児童委員の選出に関して問題が出てきています。大型タワーマンション建設の際に、さいたま市が補助金を出していたことを鑑みると、市が自治会をバックアップして連携するべきではないでしょうか。自治会は、防犯パトロール、登下校の見守り、交通指導員等の行政ができないような形で地域貢献、行政に貢献しています。向こう10年間の総合振興計画では、全庁的に自治会加入促進について特筆するべきだと思います。

○**会長** ご意見を踏まえて、今回の次期総合振興計画（案）にまとまったことだと思います。他にご意見はございますか。

○**藤枝委員** 私は浦和区に住んでおります。浦和は、台風19号の影響による被害が少ないと言える状況でした。しかし、避難所の開設に関しては地域に説明が無く、戸田市など周辺の市から多くの人々が来ました。車中泊をしている人が多く、路上に駐車したまま車が放置されるなど、避難所周辺の整備と避難所の運営に関して問題が浮き彫りになったと思います。早急に対応してほしいと思います。

○**川鍋委員** 台風に関連したことですが、資料5「さいたま市次期総合振興計画（案）」10頁に記述されているような台風19号に関する文言を、98頁の第10章の防災・消防の第1節に記載してほしいと思います。また、桜区にある浦和卸売市場の被害についても同様に記述してほしいと思います。

○**会長** 今のご意見を踏まえて、事務局が検討するというところでよろしいでしょうか。

○**事務局** 事務局で検討させていただきたいと思います。

○**藤枝委員** 都内にある区の避難所で、ホームレスの避難をお断りしたということがニュースにございました。そのような問題についても人権の観点から掲載していただけれ

ばありがたいと思います。

○会長 ご意見をいただきました。他にご意見はございますか。

○秋元智子委員 コンパクトシティについて記載がございましたが、コンパクトシティは駅に沿って配置されると考えております。現状はゾーニングや機能についての記述が弱いと思います。図式化するなど工夫が必要だと思います。

また、防災・災害についてですが、大規模な自然災害は今後も頻繁に起こると思います。部会の方でも述べましたが、レジリエンスな都市構造が重要だと思います。上下水道や堤防などハード整備だけでなく、レジリエンスを高めるような視点で、水と緑のネットワークに関連した農地保全や生産緑地、見沼田圃の保全、農業振興など、第6次産業についての記載が必要だと思います。

○会長 どうもありがとうございます。検討経過ではなく、お話が計画案の中身にも入って参りましたので、議題1はこれで終わりにさせていただきます。

## (2) 次期総合振興計画(案)について

○会長 議題2「次期総合振興計画(案)について」、事務局から説明をお願いします。

○事務局 (資料3～5に基づき、「次期総合振興計画(案)について」事務局より説明)

○桐淵委員 資料5「さいたま市次期総合振興計画(案)」の10頁に「安全・安心に対する意識の変化」という言葉がございます。平成13年にさいたま市が誕生し、平成16年に厚生労働省から通知が出て以来、市はAED普及に積極的に取り組んで参りました。消防庁のデータでは、救急車が来るまでに市民がAEDを利用すると53.5%も生存率が上がります。一方、現場を目撃した市民の5%しかAEDを利用していません。

平成16年の国からの通知により、AEDの使用という医療行為が市民に対しても認められ、AEDを設置し市民が積極的に行動することで助かる命があるということは、安全・安心に対する市民意識の変化の典型的な例だと思います。市民自身による共助、AEDをもっと積極的に利用する等の文言を追記してほしいと思います。

また、資料5の第4章教育の欄で、いじめ・不登校、子どもの自殺について市民の共通課題にも関わらず、記載されておられません。さいたま市の教育委員会は、これまでコミュニケーション能力を高めるために、人間関係プログラムという全国的にみても先進的な取組をしてきました。力を入れてきて改善をしてきた部分であり、さいたま市の強みにもなっています。さらに6年前のデータでは不登校者の数が減少しておりました。

努力して改善してきたことなので、記載するかどうか今一度検討してほしいと思います。

最後に、第7章の子ども・子育てでは、「児童虐待」という具体的には言葉は記載されていませんが、「児童虐待」に関する取組の視点が記載状況から読み取れます。しかし、第4章の教育では「いじめ・不登校」の視点も具体的な記載も無いので、視点や文言の記載に関して改めて検討してほしいと思います。

それから、全体的に第4章が学校教育に重点を置いた記載になっており、図書館や公民館といった生涯学習に関する記載も希薄であるように感じます。改めて検討してほしいと思います。

**○会長** 事務局に検討してもらいたいと思います。

**○秋元秀夫委員** 資料5の構成の話ですが、冊子のボリュームがかなりあるので、見る人にとっては、総合振興計画の概要ページが大切になると思います。現状、概要だけを見ると、どのページに何が記載されているかわかりません。同様に、目次についても3ページ構成ではなく、見開きで分かりやすいようまとめた方がよいと思います。

また、目次の構成について、第3部に「分野別計画」と書かれておりますが、内容を見ると計画ではなく、政策・施策が記載されております。この点は、「分野別政策・施策」等の文言に変更した方がよいと思います。第4部「各区のまちづくり」に関しても、「まちづくり」ではなく、「特性と目指す将来像」に変更した方がよいので検討してほしいと思います。

さらに、第5部の「質の高い都市経営の実現」は、最後に記載されている理由がわからないので、標題を変更するか、ほかのページに記載した方がよいと思います。

**○会長** 市民に分かりやすい構成が大切だと思うので、事務局に検討してもらいたいと思います。

**○内田奈芳美委員** 資料5の37頁、エリアマネジメントの項目(5)背景について、2段落目の冒頭が唐突で前後の文脈から離れていると思いますので、(5)背景を書き直していただければと思います。資料では、エリアマネジメントで「育てる」という部分が維持管理・運営となっておりますが、魅力を維持して「育てる」ということだと思います。モノを管理すること自体がエリアマネジメントの目的ではありません。記載を見ると、手段と目的が曖昧なので、整理した方がよいと思います。

また、145頁の第5部第2章高品質経営市役所の「市民に信頼される情報発信」と記載がございしますが、情報は発信するのではなく提供するものだと思います。内容を見ると、情報提供の視点が十分に記載されていないように思えます。一つの例として、オープンデータ等を利用して市が所有している統計情報を提供するなど、情報提供という視点で記述を変更した方がよいと思います。最後に用語についてですが、重点戦略1の戦術1と重点戦略2の戦術2の部分で、先進技術と未来技術の使い分けがよくわからないので、特に意味が無ければ文言を統一した方がよいと思います。

○秋元智子委員 重点戦略2の「持続可能性」と課題4の「サステナブル」の言葉について、どのように言葉を使い分けているのでしょうか。

○会長 意味は同じだと思いますので事務局は整理をお願いいたします。

○柏木委員 資料4「さいたま市次期総合振興計画（案）の概要」について、魅力について記載がございますが、「地理的優位性」の災害に強いという言葉が気になります。10年間の計画なので、災害に強いと言い切ってしまうと上げ足を取られてしまうかもしれません。さいたま市は、たまたま千葉・福島・茨城と比較すると災害の被害が少ないだけであり、災害に強いのであれば、課題3に上がってこないはずで、できればこの言葉を変更していただきたいと思います。

また、25頁の中に説明が記載されておりますが、この記載については、災害時にさいたま新都心が国の代替拠点になるという背景が考えられます。さいたま市の優位性を考えると、国の代替拠点という言葉が踏まえた記載に変更した方が良いと思います。

○会長 重要なお指摘ありがとうございます。事務局は検討していただければと思います。

○齋藤英一委員 第3部会で休耕地の増加について議論しました。分野別計画の産業・経済の第3節で、都市農業の振興が記載されておりますが、営農の視点が大切なので、休耕地の解消に向けた施策についても記載してほしいと思います。

○宮本委員 膨大な資料の取りまとめご苦労様でございます。先程、分野別計画ではなく、分野別政策・施策ではないか、というお話がありました。重点戦略を実現するために分野別の計画があると思いますが、資料を見ただけではわかりづらいと思います。どの政策が実現すると、どの戦略が実現していくのか、ということが市民の方に伝わりづらいと思います。分野別の政策・施策と重点戦略の繋がりについてももう少しわかりやすく記載してほしいと思います。

また、上質な生活都市を市民がイメージする際に、ストーリーが大切だと思います。現状だとまだ分かりづらいので、市民が読んでわくわくするようなさいたま市のイメージがほしいと思います。

分野別計画の第3章健康・スポーツに関しては、記述がスポーツに偏り過ぎている印象を受けます。健康はスポーツだけではなく、コミュニティや住環境に関連することです。現状、コミュニティに関しては言及が少しされていますが、住環境については、ほとんど触れられていません。世界的に見ても日本の住環境は悪く、部屋の温度を温かくするだけでも健康寿命が延びると言われているので、省エネだけではなく健康面と住環境の関連についても、もう少し検討してほしいと思います。

最後に、第4章教育の話で生涯教育について記載内容が少ないと指摘がありましたが、さいたま市は社会教育施設として、図書館や公民館が合わせて90以上あり多様なストックとなっているので、十分に生かす方向で在り方を見直してほしいと思います。さいたま市はこの施設の維持管理で年間54億円も税金をかけております。生涯教育の視点でストック活用に関しても考えてほしいと思います。

**○会長** ご意見を頂きありがとうございました。それでは最後に「その他」といたしまして、事務局から説明をお願いいたします。

### (3) その他

**○事務局** 本日いただいたご意見等については、各部会を必要に応じて開催し、対応を整理させていただきます。対応結果につきましては、11月7日(木)に予定をしている第4回総会にて、皆様にお示ししたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

**○会長** 以上をもちまして、本日の議事を終了させていただきたいと思います。委員の皆様のご協力により、円滑な議事進行ができましたことにお礼申し上げます。

4 閉会
------

以上